

山古志の復興

小川 智美

自然の力はすごい。あの地震で山古志の自然は×千^ヤク千^ヤになった。美しかった山は崩れ、今年おいしいお米を作る田んぼはこわれ今までの山古志とはま^マたくちがう景色だ。すぐく悲しくな^ナった。

地震の前は、泳ぐ宝石とよばれ、県外の人もそのためだけに山古志に来るほど美しいに

山古志小学校

しき鯉やたくさんの人が大好きな景色とてもはく力のあるとう牛も、あの時なくな^ナってしま^マうのかと思^モっていた。

でも今はそんなことを思^モってはいない。なせなら今は山古志の人みんなで復興にかんば^バっているからだ。早くにしき鯉を復興させようと毎日のように山古志に帰^ケって鯉のせわをする人がいる。「自分の手でやるところまでやる」と言^イい一生けん命復興作業をするお年寄りもいる。このようにみんなでかんば^バ

ているので山古志は絶対もとにもやる。それ
どころか前よりもも、といいところになる。
そう信じている。

今、私達は毎日学校にかよってばんきょう
している。元気にあそんでいる。また家族で
協力して生活している。このようにみんな元
気にすごしている。みんな復興にかんがって
いる。だから山古志は地震に負けていない。

山古志小学校